

古紙分別「次は自分で」

福井 社西小児童ら方法学ぶ

古紙リサイクルについて学ぶ教室が31日、福井市社西公民館で開かれた。同市社西小の児童ら約80人が参加し、家庭から出る紙ごみの分別方法について理解を深めた。

環境保護について考えてもらおうと、同公民館が古紙回収業の増田喜(同市乾徳2丁目)に協力を依頼した。

同社のキャラクター「エコ紙マン」と「エコ紙博士」が登場し「国民1人当たりの古紙排出量は年間約250キログラム。リサイクルしなければ新たな紙を作るため1人当たり5本の木を切り倒すこと

になる」と古紙リサイクルの重要性を訴えた。

児童はまた、家庭で出る雑誌やお菓子の箱、コ



エコ紙マン(右)から古紙の分別について教わる児童たち=31日、福井市社西公民館

ビー用紙などの分別方法をクイズ形式で学んだ。太田業七乃さん(社西小4年)は「いつも分別はお母さんに任せているけど、自分でもやってみようと思う」と話した。

(北島将志)